

2021 年度

事業計画書

収支予算書

2021 年 3 月 15 日

公益財団法人水産無脊椎動物研究所

2021 年度 事業計画書

基本方針

当研究所の事業は、水産無脊椎動物の研究者を「助ける」事業、研究情報を収集して活用をはかる「集める」事業、水産無脊椎動物の情報を「広める」普及啓発事業で成り立っている。今年度もこれらの3事業を通じて、水産無脊椎動物に関する研究の進展、及び水産資源の開発や利用推進に寄与できるよう活動していきたい。

1. 「助ける」研究助成事業

助成事業は1988年から始めて33年目を迎える。近年は遺伝子研究など、より実利的な課題や研究テーマに偏る傾向にあるが、当財団としては水産無脊椎動物分野における地道な基礎的研究への応援を中心に、助成事業を推進していくこととしている。

2021年度の課題募集については、前年より、個別研究は15件減少し48課題、育成研究は10件増加し29課題（合計77課題）の応募があった。その中から、個別研究9課題、育成研究4課題を専門委員の審査により採択した。

今後の広報活動について、引き続き新たなメーリングリストの追加や学会での広報を行うとともに、当財団WEBサイト、TwitterやFacebookでの発信、当該分野の人脈ネットワークとの交流に努めながら認知を広め、同時に、当研究助成の意義を明確にしていくことで、更なる応募数の増加と助成事業の拡大を図る。高校生等、現状より若年層からの応募も期待できる応募形式の開発や広報ルートの開拓にも取り組んでいきたい。

2. 「集める」研究情報・資料の収集、交換図書、学会の聴講

(1) 軟体動物後鰓類(ウミウシ)の研究情報と画像の収集に努める。

長年、継続してきた後鰓類の研究情報と画像の収集に関しては、過去論文等に発表されたものは一旦すべて収集整理が完了した。引き続き新たに発表されたものに関して継続して収集に努めていく。

これまでに収集した後鰓類の情報活用も模索していく。

(2) 資料・論文の収集と保管

無脊椎動物に関する図書・図鑑を増やし、発表された論文やその情報を収集・保管し、利用を図る。

関東周辺における海産無脊椎動物の出現・分布状況を調査し、情報を収集する。特に後鰓類の分布情報を文献および野外調査にて重点的に収集する。本年度はまずリスト作りと情報収集に努める。また、2019年度よりミュージアムパーク茨城県自然博物館が実施している総合調査研究の調査員として参加しており、同博物館と共同研究を行う。この調査・研究では茨城県における海産動物の情報を収集し、同博物館の出版物への執筆や、特筆すべきものについては論文を発表する予定である。

(3) 学会の聴講

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、オンライン開催が予定されている学会もあるため、これまでに参加したことのない学会の聴講にも参加する。例年どおり、日本貝類学会、日本動物学会、日本動物分類学会、日本甲殻類学会の大会などに参加する。また、関連したシンポジウム等があれば財団のネットワーク拡大にもつなげていく。収集した新しい研究情報は、一般の人にも広めるべきと考えられる内容は研究者に「うみうし通信」への掲載を依頼する。

3. 「広める」普及啓発事業

(1) 広報誌「うみうし通信」の発行

「うみうし通信」は当研究所（財団）の広報誌であり、広く水産無脊椎動物についての情報を掲載する。また、助成課題の研究報告の中で貴重な研究情報があれば掲載する。今年度も No. 111 から No. 114 号の 4 号を発行する。

(2) 「うみうしくらぶ」会員の維持と発展

会員は「うみうし通信」の定期購読者である。内外のイベントなどで「うみうし通信」の広報活動を行うことにより、新規会員・読者を開拓する。近年、小学生を含む学生の入会も増えているため、若手会員が参加できるようなイベントも企画する。

(3) 子供向け及び「うみうしくらぶ」会員向けのイベントを実施する。

① 子供を対象とした海の生物観察会

コロナの影響で昨年は実施しなかったが今年は感染防止に留意して、実施していく。「第 14 回 親子で楽しむ海の生き物わくわくウォッチング」を従来通り、神奈川県観音崎自然博物館を利用し、5 月 15 日（土）に開催する。

② 中学生以上を対象とした観察会

宿泊をともなう磯の生物勉強会は、今年度は休止とし、それに代るイベントとして、5 月 30 日（日）横須賀市自然・人文博物館の天神島臨海自然教育園（神奈川県横須賀市佐島）にて、日帰りの大人向けの観察会「ウミウシの観察」を行う。

(4) 財団WEBサイト（rimi.or.jp）の充実と交流ネットワークの拡大への取り組み

① 財団公告メディアとして、財団の情報公開は迅速かつ正確に行う。

また研究助成課題の募集と課題の決定は、ここで公表する。

② 水産無脊椎動物の理解を助けるため、引き続き水産無脊椎動物図鑑の拡充を推進する。より特徴の分かる写真を追加し、分類群名の変更など、近年の研究情報も反映させていく。

③ 「うみうし通信」の過去記事の公開化を進め、より多くの一般の方に、水棲の無脊椎動物について知ってもらおうきっかけづくりを推進する。

④財団周年シンポジウムや学会で広がった若手研究者との交流やSNSを活用しながら、地道に財団の存在認知や交流ハブになるよう進めていく。

(5) 生物分布情報の活用

財団でこれまでに収集している画像や、イベントの際に収集できた種の分布情報は、生物多様性情報の重要なデータとなりうる。海洋研究開発機構(JAMSTEC)を窓口とする国連ユネスコ傘下の国際的なデータベース(OBIS)へのデータ提供を継続し、生物情報の登録を進め調査・研究に活用いただく。

上記のように、今年度も引き続き、水産無脊椎動物の研究進展に寄与できるよう「助ける」「集める」「広める」事業を着実に推進していきます。

なお、そのためにも、昨年度オープンした寄附募集サイトの広報を強化し、事業継続性のための財務基盤充実に結びつくよう取り組んでいきます。

(<https://www.rimi.or.jp/support/>)。

以上

2021年度収支予算書

2021年4月1日より2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	29,160	32,400	△ 3,240
基本財産受取配当金	9,750,000	11,000,000	△ 1,250,000
受取年会費	500,000	434,700	65,300
イベント収入	50,000	90,000	△ 40,000
受取寄付金	300,000	230,000	70,000
その他利息収入	0	0	0
雑収入	20,000	0	20,000
経常収益計	10,649,160	11,787,100	△ 1,137,940
(2) 経常費用			
① 事業費	28,367,728	28,860,282	△ 492,554
給料手当	4,860,000	4,860,000	0
臨時雇用賃金	950,000	950,000	0
退職給付費用	300,000	0	300,000
厚生費	930,000	803,000	127,000
会議費	500,000	500,000	0
旅費交通費	620,000	1,000,000	△ 380,000
通信運搬費	500,000	500,000	0
消耗什器備品費	50,000	210,000	△ 160,000
消耗品費	250,000	150,000	100,000
印刷製本費	1,600,000	1,680,000	△ 80,000
賃借料	1,717,728	1,717,728	0
諸謝金	500,000	650,000	△ 150,000
支払助成金	15,000,000	15,000,000	0
減価償却費	90,000	139,554	△ 49,554
業務委託費	400,000	500,000	△ 100,000
雑費	100,000	200,000	△ 100,000
② 管理費	8,253,000	8,301,456	△ 48,456
給料手当	4,344,000	4,344,000	0
厚生費	730,000	832,000	△ 102,000
会議費	100,000	120,000	△ 20,000
旅費交通費	100,000	150,000	△ 50,000
通信運搬費	42,000	35,000	7,000
消耗什器備品費	30,000	150,000	△ 120,000
消耗品費	50,000	10,000	40,000
水道光熱費	95,000	95,000	0
賃借料	1,500,000	1,500,000	0
業務委託費	1,100,000	950,000	150,000
租税公課	2,000	2,000	0
減価償却費	110,000	58,456	51,544
雑費	50,000	55,000	△ 5,000
経常費用計	36,620,728	37,161,738	△ 541,010
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 25,971,568	△ 25,374,638	△ 596,930
基本財産評価損等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 25,971,568	△ 25,374,638	△ 596,930
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 25,971,568	△ 25,374,638	△ 596,930
一般正味財産期首残高	663,401,772	688,776,410	△ 25,374,638
一般正味財産期末残高	637,430,204	663,401,772	△ 25,971,568
II 正味財産期末残高	637,430,204	663,401,772	△ 25,971,568

収支予算書内訳表

2021年4月1日 から 2022年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	公1		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	29,160	0	29,160
基本財産受取配当金	9,750,000	0	9,750,000
受取年会費	500,000	0	500,000
イベント収入	50,000	0	50,000
受取寄付金	300,000	0	300,000
その他利息収入	0	0	0
雑収入	20,000	0	20,000
経常収益計	10,649,160	0	10,649,160
(2) 経常費用			
事業費			
	28,367,728		28,367,728
給料手当	4,860,000		4,860,000
臨時雇賃金	950,000		950,000
退職給付費用	300,000		300,000
厚生費	930,000		930,000
会議費	500,000		500,000
旅費交通費	620,000		620,000
通信運搬費	500,000		500,000
消耗什器備品費	50,000		50,000
消耗品費	250,000		250,000
印刷製本費	1,600,000		1,600,000
賃借料	1,717,728		1,717,728
諸謝金	500,000		500,000
支払助成金	15,000,000		15,000,000
減価償却費	90,000		90,000
業務委託費	400,000		400,000
雑費	100,000		100,000
管理費			
		8,253,000	8,253,000
給料手当		4,344,000	4,344,000
厚生費		730,000	730,000
会議費		100,000	100,000
旅費交通費		100,000	100,000
通信運搬費		42,000	42,000
消耗什器備品費		30,000	30,000
消耗品費		50,000	50,000
水道光熱費		95,000	95,000
賃借料		1,500,000	1,500,000
業務委託費		1,100,000	1,100,000
租税公課		2,000	2,000
減価償却費		110,000	110,000
雑費		50,000	50,000
経常費用計	28,367,728	8,253,000	36,620,728
基本財産受贈益			
基本財産評価損益			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 17,718,568	△ 8,253,000	△ 25,971,568
当期経常増減額	△ 17,718,568	△ 8,253,000	△ 25,971,568
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 17,718,568	△ 8,253,000	△ 25,971,568
一般正味財産期首残高	258,464,930	404,936,842	663,401,772
一般正味財産期末残高	240,746,362	396,683,842	637,430,204
II 正味財産期末残高	240,746,362	396,683,842	637,430,204